

6年生 国語科「メディアと人間社会」(1/6)

1. ねらい 文章を読んで理解したことに基づいて、「これからの社会でどう生きるか」ということについて自分の考えをまとめることができる。

2. 学習活動と ICT の活用

学習活動	ICT の活用
<p>1. 本時のめあてを知る。 (めあて) 文章を読み、自分が社会をどう生きていくかを考えよう。</p>	<p style="text-align: center;"><b>思考ツール</b></p> 
<p>2. 文章を読んで初めて知ったことを発表する。 ・最近、メディアはすごく発達している。 ・人間がメディアにどんなことを求めているかを意識することが大切。</p>	
<p>3. これからの社会を予想する。 ・インターネットがもっと広がる。 ・人間は何もしなくてよさそう。</p>	<p>○思考ツール上で自分の考えがどこに当てはまるか考え、自分の名前が書いてあるカードをその場所に貼り、共有する。</p>
<p>4. これからの社会でどう生きていくかについて考える。</p> <p><b>【個別】</b> 思考ツールを使い、メディアやAI とどのように付き合っていくか、自分の考えが当てはまる場所を示す。</p>  <p><b>【協働】</b> 共有された思考ツールを見て、考えが似ている児童と話し合う。</p> 	<p>○友達の話聞く前を黒、聞いた後を赤の矢印で自分の当てはまる場所を表す。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="695 1234 1054 1585"> <p><b>提出箱</b></p>  </div> <div data-bbox="1059 1234 1422 1585"> <p><b>話し合いの様子</b></p>  </div> </div>
<p>5. 今後の学習の見通しをもつ。</p>	<p>→友達の話聞く前と聞いた後で、考えが変わった児童がいた。</p>
<p>6. 振り返る 「学習のしかた」について振り返る。</p>	

3. 成果 メディアとの関わり方を可視化することで、考えの近い児童と話し合うことができた。思考ツールを活用することで考えを明示することができた。

4. 課題 話し合いに不安感がある児童は思考ツール上にカードを貼ることができなかった。話し合うことに不安感がある児童に対しての支援が必要である。